

病院全体

参加形式: 必須

指標名: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

定義の要約:

分子) 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策(弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上)が実施された患者数

分母) 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

指標の定義・算出方法:

1. 計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術〔別表〕(リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/ 深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)の予防ガイドライン』に準じて抽出)のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式 1 の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分 1 は 15 歳以上の患者、区分 2 は 40 歳以上の患者を対象とする。
2. 分母のうち、EF ファイルを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかに該当する患者を抽出し、分子とする。
(ア) 以下の算定があった患者

113006910 肺血栓塞栓症予防管理料

(イ) 抗凝固療法〔以下の薬価基準コードの薬剤が用いられたもの〕が行われた患者

3332\$ 3339001\$

3334400\$ 3339002\$

3334401\$ 3339003\$

3334402\$ 3339004\$

3334406\$ 3339400\$

式	単位
$(\text{分子} \div \text{分母}) \times 100$	% (パーセント)

その他:

意義:

周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、発生率を下げることにつながる。

留意点:

参考資料:

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3 計測マニュアル

肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症) 予防ガイドライン

The Joint Commission; Specifications Manual for National Hospital Inpatient Quality Measures, Version 4.3a
SCIP-VTE-2 Surgery Patients Who Received Appropriate Venous Thromboembolism Prophylaxis Within 24 Hours
Prior to Surgery to 24 Hours After
Surgery(http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NHQM_v4_3a_PDF_10_2_2013.zip)